

研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年6月 福島県立医科大学 学長 竹之下 誠一

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座
富樫 一智

【研究課題名】

早期大腸癌の長期的な治療成績に関する研究

【研究期間】

2022年6月～2027年12月

【研究の意義・目的】

近年、早期大腸癌に対する内視鏡治療は、すさまじい進歩を遂げています。特に、2013年4月に保険収載された内視鏡的粘膜下層剥離術の登場により、10cmを越える病変でも内視鏡的に切除できるようになりました。この治療対象となる病変は早期大腸癌であり、どのような早期癌が内視鏡治療の適応となるかについては、施設による温度差がみられています。私たちは開院当初から積極的にこのような内視鏡治療法を導入してきましたので、この治療成績について検討することに意義があると考えられます。大腸早期癌の病理学診断においては、最近では標準化されている elastica 染色や D2-40 染色が開院当初より行われており、組織学的評価方法も標準より高いレベルにあると考えられます。この研究では、現況の早期大腸癌に対する治療、特に内視鏡治療の課題を探索的に見出すことを目的とし、今後行う前向き研究の礎となることを目指しています。

【研究の対象となる方】

2013年4月から2022年3月までに、会津医療センターで大腸腫瘍、特に早期癌に対する治療を受けた患者さん

【研究の方法】

上記対象患者の情報を診療録により調査し、その結果の解析を行います。収集する情報は、以下の項目となります。

調査項目：年齢、性別、検査理由、既往歴、内服薬、病変の存在部位・形態・腫瘍径・切除方法、粘膜下層の線維化、切除前の病期診断、内視鏡の操作性、使用した器具、治療時間、切除標本の状態（径・切片数など）、切除標本の回収方法、病理組織所見、術中術後の合併症、内視鏡的粘膜下層剥離術の完遂度、術者、入院後経過、血液検査結果、入院期間、転帰

【研究組織】

研究責任者：

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）教授（氏名）富樫一智

研究分担者：

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）助教（氏名）根本大樹

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）助教（氏名）愛澤正人

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）教授（氏名）歌野健一

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）臨床助手（氏名）鈴木康平

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）准教授（氏名）五十畑則之

（所属）小腸・大腸・肛門科学講座 （職）教授（氏名）遠藤俊吾

（所属）消化器内科学講座 （職）助手（氏名）中島勇貴

(所属) 消化器内科学講座 (職) 助手 (氏名) 和田淳
(所属) 消化器内科学講座 (職) 助手 (氏名) 佐藤賢太郎
(所属) 消化器内科学講座 (職) 教授 (氏名) 澁川悟朗

【他の機関等への試料等の提供について】
ありません

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 2 1 - 2
福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 担当 根本大樹
電話: 0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568
E-mail: nemotoda@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 2 1 - 2
福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 担当 根本大樹
電話: 0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568
E-mail: nemotoda@fmu.ac.jp